

製品名	機能概要	詳細
シンプルポルト		
	対応OS	Windows Me/2000/XP Home/XP Professional
	●ウィザードによる簡単設定	バックアップも、シンクロナイズも、ウィザードでフォルダを選ぶだけで、設定を作成出来ます。リストアもウィザードで簡単に行えます。
	・複数の設定が可能	設定は複数作成可能です。設定を指定すると、ハードディスクのフォルダをフラッシュメモリ内（圧縮イメージファイル）にバックアップまたはシンクロナイズします。
	・タスクトレイから実行	一度設定を作成すれば、タスクトレイ等から設定名を選ぶだけで、設定内容が実行されます。
	●バックアップ	
	・差分バックアップ	更新されたデータのみを追加保存する差分バックアップを行うため、処理も高速で、容量を節約する事が出来ます。また、差分バックアップにより、バックアップの履歴を持つので、過去のどの時点にでも、戻す事が出来ます（但し、過去のデータを全部持っているので、バックアップは相応の大きさになります）。
	●リストア	
	・ウィザード	リストア操作では、ウィザードの指示に従って、バックアップイメージを選ぶところから始めます。
	・個別リストアも可能	バックアップしたフォルダ全体でも、ファイル個別でも取り出す事が可能です。
	・リストア先	リストア先に、任意のフォルダを指定する事が出来ます。
	●シンクロナイズ（同期）	
	・最新のファイルだけ	バックアップと同様、保存した設定を選ぶだけで、ハードディスクのフォルダ内の最新版のファイルを、フラッシュメモリ内（圧縮イメージファイル）にバックアップします。
	・PC間でシンクロナイズ	例えば、2つのPC間で、データを持って移動する場合に、間違いなく、最新版のファイルだけを持って移動する事が出来ます。
	・トリムモード	イメージからもファイルを削除する場合は、トリムモードによって、ファイルの削除を反映させる事が出来ます。また、他のPCとシンクロナイズするために、イメージから削除されたファイルをフォルダからも削除する場合も、逆方向のトリムモードで反映させる事が出来ます。
	●圧縮	
		イメージファイルは自動的に圧縮されますので、データをそのままコピーするよりも、フラッシュメモリの容量を活用出来ます。
	●暗号化	
	・メディア毎のパスワード設定	バックアップ／同期ともに、自動的に、メディア毎に設定したパスワードを使って暗号化します。
	・AES	AES（次世代米国規格）に採用されたRijndaelアルゴリズムによる暗号化を行います。
	●パスワード	
	・パスワード入力は一度	タスクトレイに常駐したアプリケーションは、メディアを認識した時に、パスワードの入力を求めます。パスワードはこの時に入力するだけで良く、使用中は何度もパスワードを入力する必要がありません。
	・パスワードはメディアには残りません	パスワード情報はフラッシュメモリに残りませんので、PCからフラッシュメモリを取り外せば、暗号化されたイメージが入っていても、安全に携帯出来ます。
	●ファイル/フォルダの完全消去	
	・任意のファイル/フォルダの完全消去	フラッシュメモリをバックアップだけに使うとは限りません。フロッピーディスクのように、一時的に、ファイルを入れたり、他人との受け渡しに使う事もあります。そのようなファイルも完全に消去することが可能です。
	・右クリックによる簡単な操作	フラッシュメモリ上のファイル／フォルダを選んで、マウスの右クリックを行うと、コンテキストメニューに完全消去の項目が現れます。後は、オプションを選んで、消去をクリックすれば、復元ソフトで取り出す事も出来ない状態になります。
	・8種類の消去方式	消去方式は、0を一回書き込み、1を一回書き込み、乱数を一回書き込み、NSA方式、旧NSA方式、米国国防総省方式、NATO方式、Gutemann方式の八種類から選択する事が出来ます。特に、セキュリティに敏感な環境でお使いいただけます。